

公務員を 育てる塾

一生懸命な人、本気で住民のことを考えてくれる人
にこそ公務員になってほしいし、
そういう人こそを公務員の現場に
送り込まなければならないと考えています。

一人ひとりの公務員が、一生懸命に考え、行動することが、
人々の暮らしを変え、地域を変え、やがては日本を
変えていく。それが公務員の仕事です。
とても重要で、やりがいのある仕事です。

だからこそ、一生懸命にがんばる人が合格するために、
必要なことを徹底して指導します。

公務員試験が問うているのは、公務員としての素養です。
現代社会を取り巻くさまざまな問題を解決し、
住民のより良い暮らし、平和で幸福な社会に尽力する
ための基礎力——政策形成能力の基礎とでもいうべき
力です。

喜治塾では、公務員試験の意義を真正面から捉えつつ、
合格するための効率的な指導をします。



公務員試験専門 喜治塾
塾長 喜治賢次

■きじ・けんじ 慶応義塾大学法学部卒。新宿区役所に入区。教育委員会、都市整備部、住宅対策室、その後、住宅・都市整備
公団(当時)に移り、再開発事業、都市開発事業に携わる。公団を退職し、行政研究と同時に後進の指導に従事。1999年より
公務員受験指導を開始し、多くの合格者を輩出する。公務員試験の合格指導と並行して地域コミュニティー、環境問題など
に主体的に取り組む活動をしている。新宿区戸塚地区協議会委員(環境分科会)新宿区自治基本条例区民検討委員、軽井沢町
まちづくり委員(長野)などを歴任し、内閣府政策企画調査官として国の事業仕分けにも参画(いずれも退任)。また政策法
務、行政法、地方自治法などの講師として全国の自治体で現職公務員向けの研修にも力を入れているの著書「喜治賢次の公
務員試験の王道」(週刊住宅新聞社)。「生涯学習のユークャン」[公務員講座]の執筆・監修